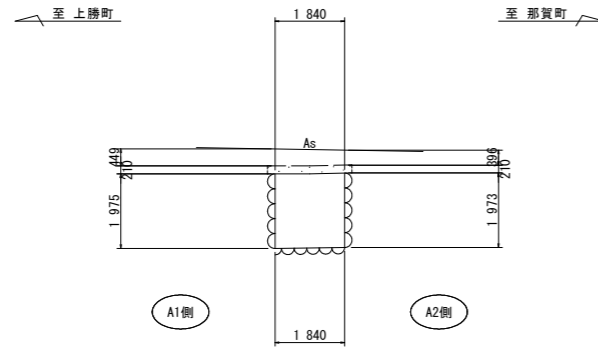


よろい谷橋 橋梁一般図

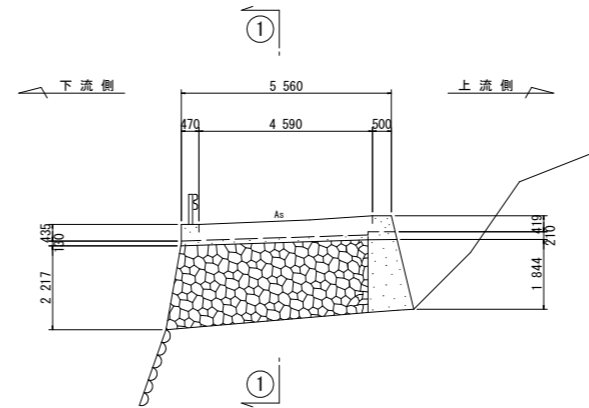
側面図 S=1:100

(1-1) 断面

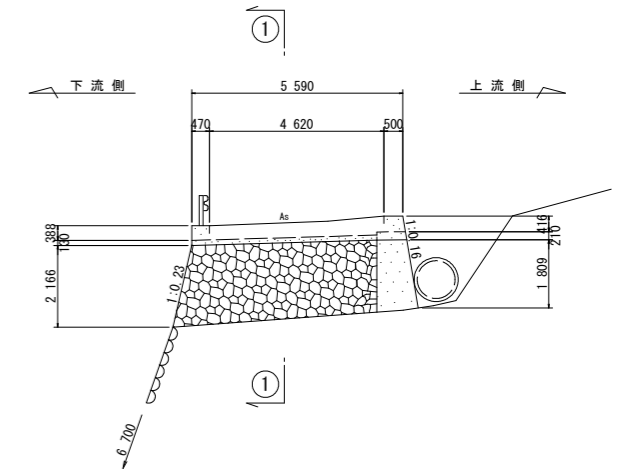


断面図 S=1:100

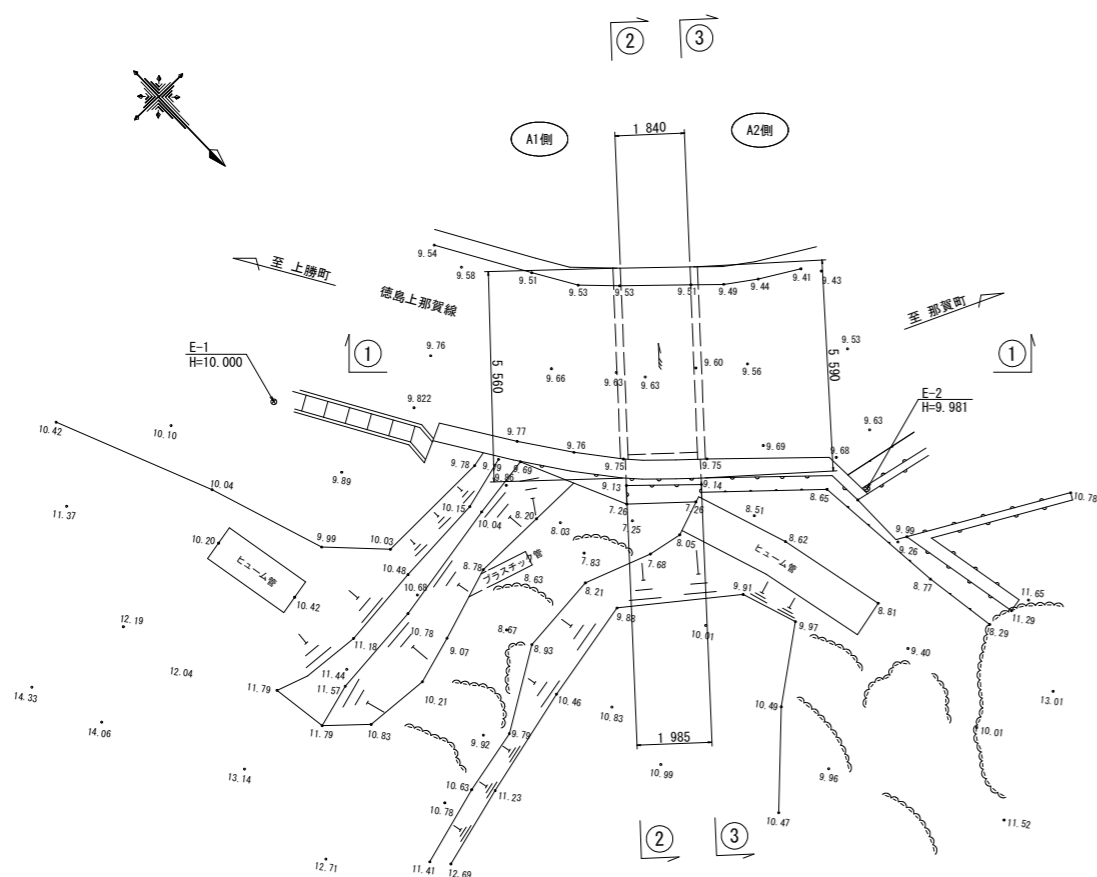
(2-2) 断面



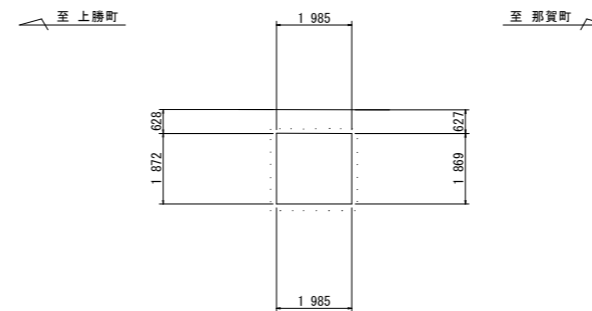
(3-3) 断面



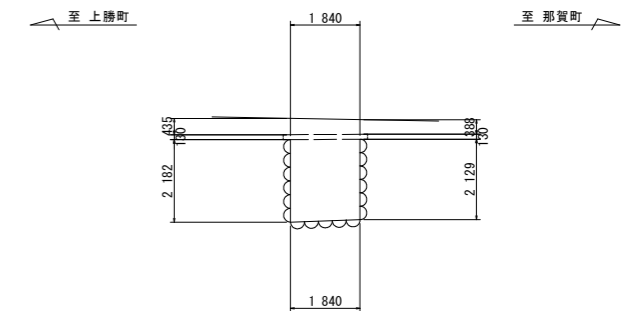
平面図 S=1:100



上流側断面



下流側断面



橋梁概要

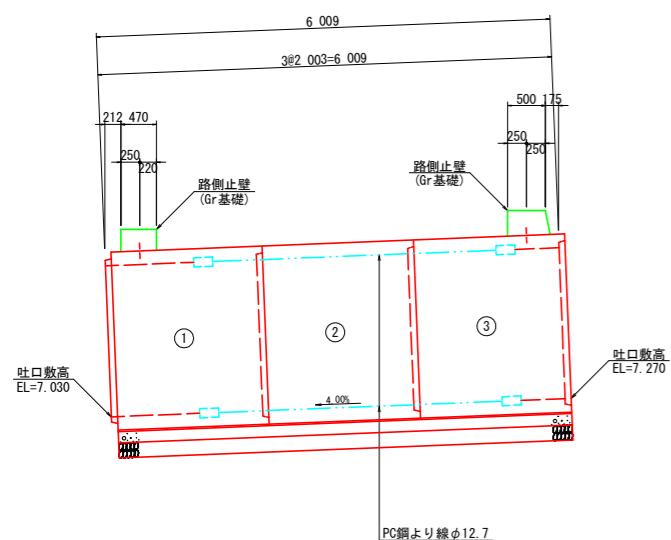
路線名	主要地方道 徳島上那賀線	
橋格	二等橋(昭和14年鋼道路橋設計示方書)	
橋長	2.200m	
幅員	4.600m(車道有効幅員)	
上部工	A1-A2径間	RC床版橋
	施工年次	昭和26年度(1951年)
下部工	橋台・橋脚	重力式橋台、石積み(空)
	施工年次	昭和26年度(1951年)
交差物	無名谷	
添架物	なし	

実施設計図面 (よろい谷橋)

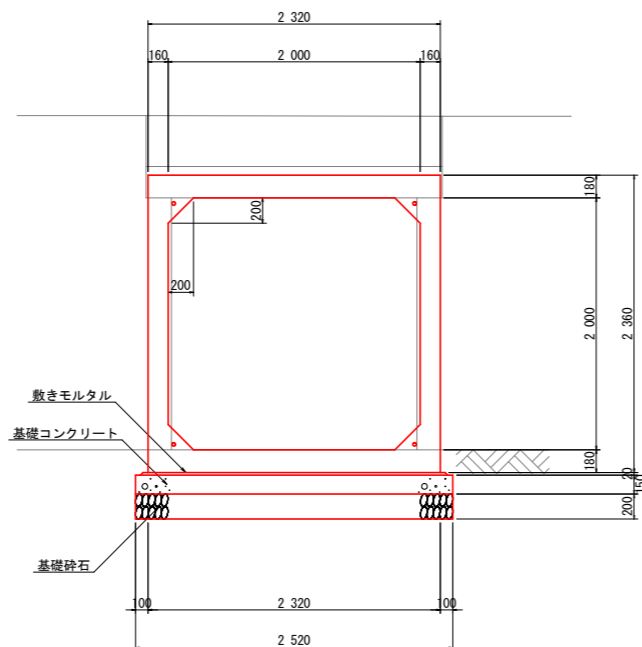
工事名	R1那土 徳島上那賀線(よろい谷橋)他2橋 那賀・掛盤他 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町掛盤他		
図面名	橋梁一般図		
縮尺	1:100	図面番号	1 / 10
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

ボックスカルバート構造図

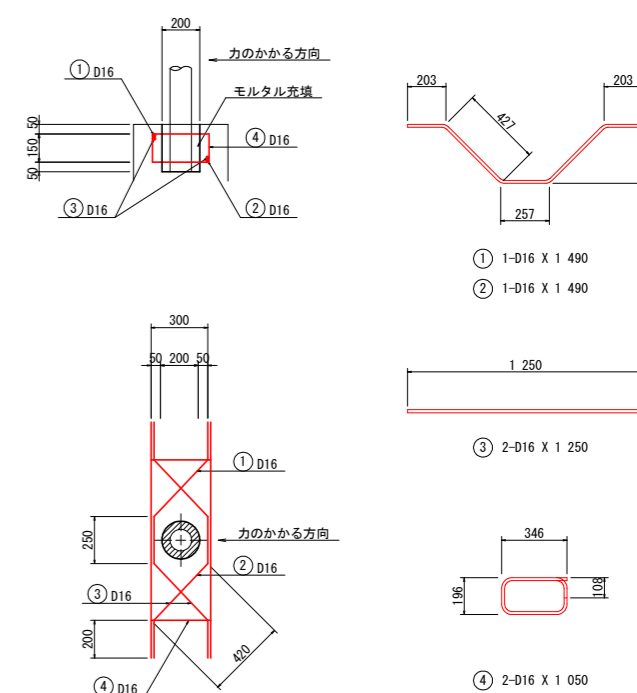
縦断図 S=1:50
(ボックス構造中心)



標準断面図 S=1:30



ガードレール補強筋 S=1:20



ボックスカルバート数量表

種別	幅	高さ	長さ	数量	番号	備考
基本	2 000	2 000	2 000	1	②	参考質量 W=7.780kg/基
基本	2 000	2 000	2 000	2	①③	定着部付、頂版差し筋 L=200付 (D13 S0345)
合計				3		

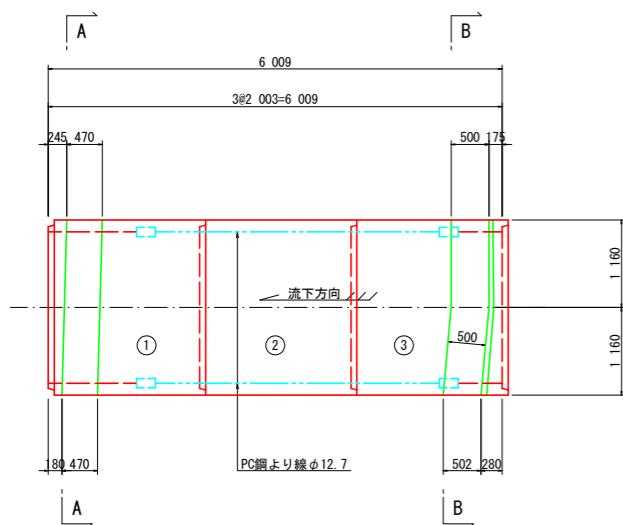
基礎工数量表

名称	算式	単位	数量
敷きモルタル	$0.02 \times 1/2 \times (2.40 + 2.44) \times 6.01$	m ³	0.29
基礎コンクリート	$0.15 \times 2.52 \times 6.01$	m ³	2.27
同上型枠	$0.15 \times 2 \times 6.01$	m ²	1.80
基礎砕石 (t=200)	2.52×6.01	m ²	15.15

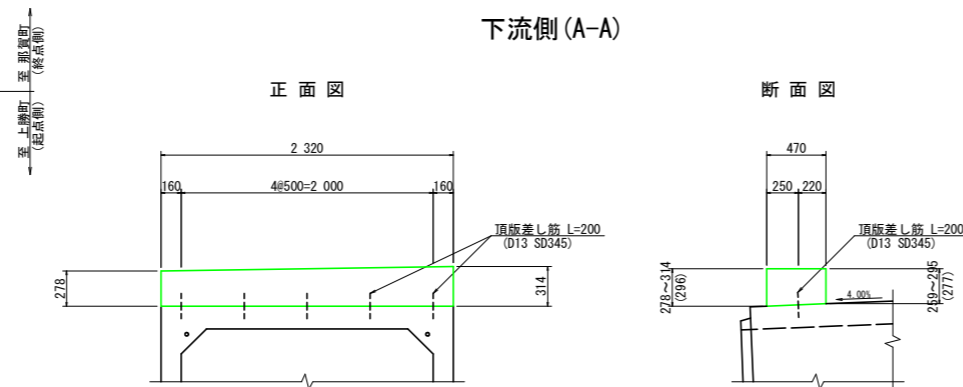
縦断め材料表

種類	単位	数量	備考
PC鋼より線	φ12.7mm	m	20.8
定着金具	セット	8	アンカープレート、グリップ

平面図 S=1:50



路側止壁展開図 S=1:30
(ガードレール基礎)

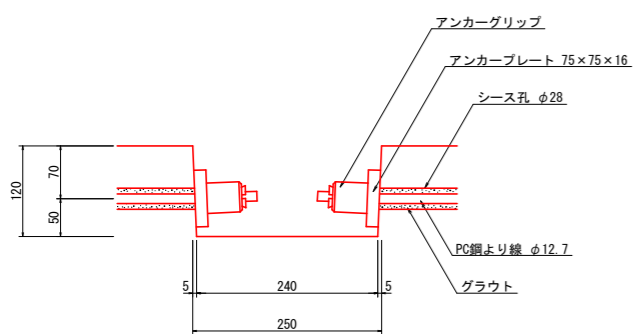


下流側 (A-A)

正面図

断面図

定着部詳細図 S=1:5



上流側 (B-B)

正面図

断面図

路側止壁数量表 (下流側)

名称	算式	単位	数量
コンクリート	$1/2 \times (0.296 + 0.277) \times 0.470 \times 2.320$	m ³	0.31
型枠	$(0.296 + 0.277) \times 2.320$	m ²	1.33

路側止壁数量表 (上流側)

名称	算式	単位	数量
コンクリート	$1/2 \times (0.338 + 0.318) \times 0.500 + 1/2 \times 0.318 \times 0.064 \times 2.320$	m ³	0.40
型枠	$(0.338 + 0.318 \times 1.019804) \times 2.320$	m ²	1.54

※) 上流側止壁の前面勾配は、連続する路側壁と整合させる。

※) 頂版差し筋は、プレキャストボックス製作時にあらかじめ取り付ける。

鉄筋重量表

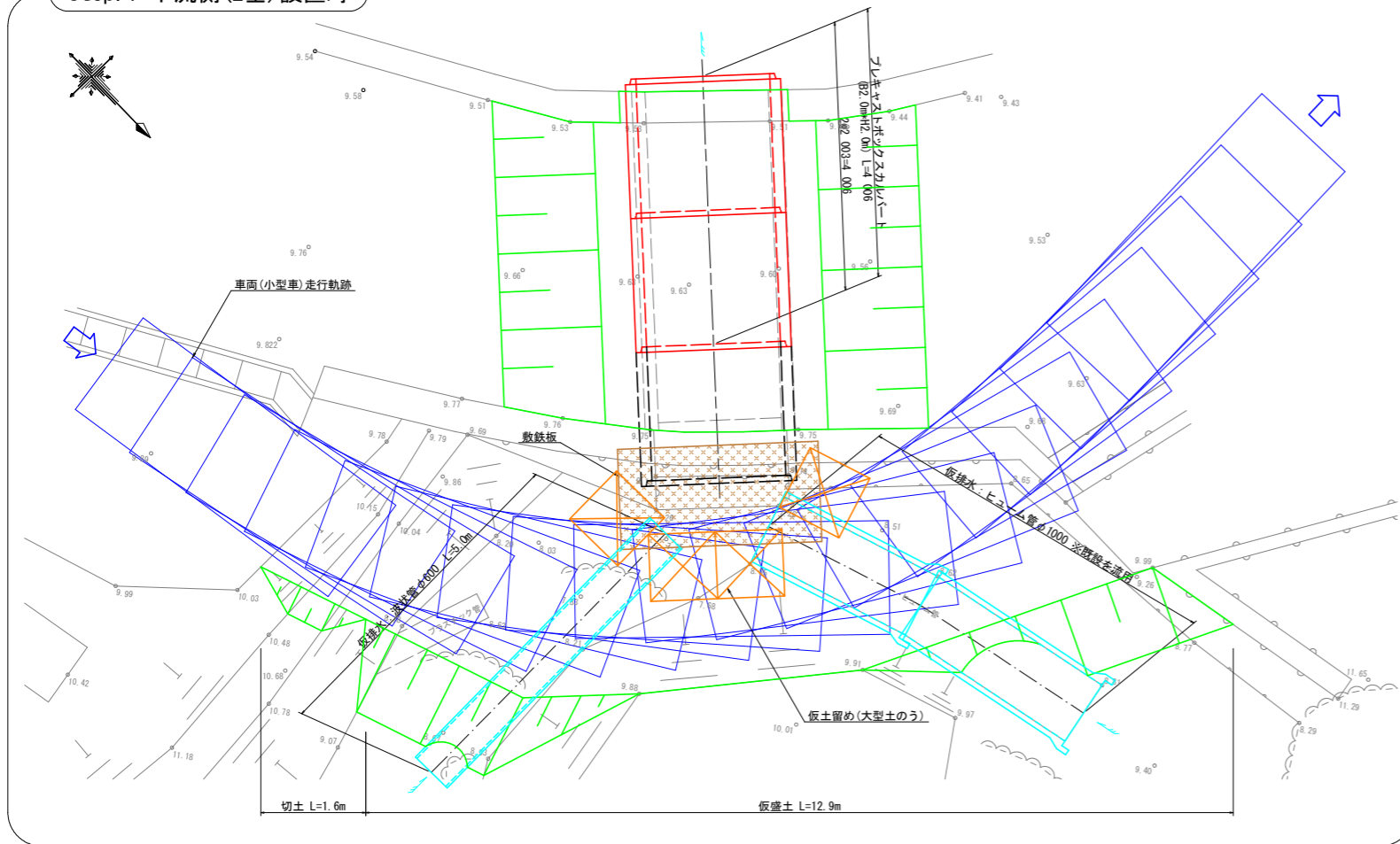
記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
1	D16	1 490	1	1.56	2.32	2.32	∩
2	D16	1 490	1	1.56	2.32	2.32	∩
3	D16	1 250	2	1.56	1.95	3.90	—
4	D16	1 050	2	1.56	1.64	3.28	□
11.82							
合計 D16				11.82 kg			
総質量				11.82 kg			

実施設計図面
(よろい谷橋)

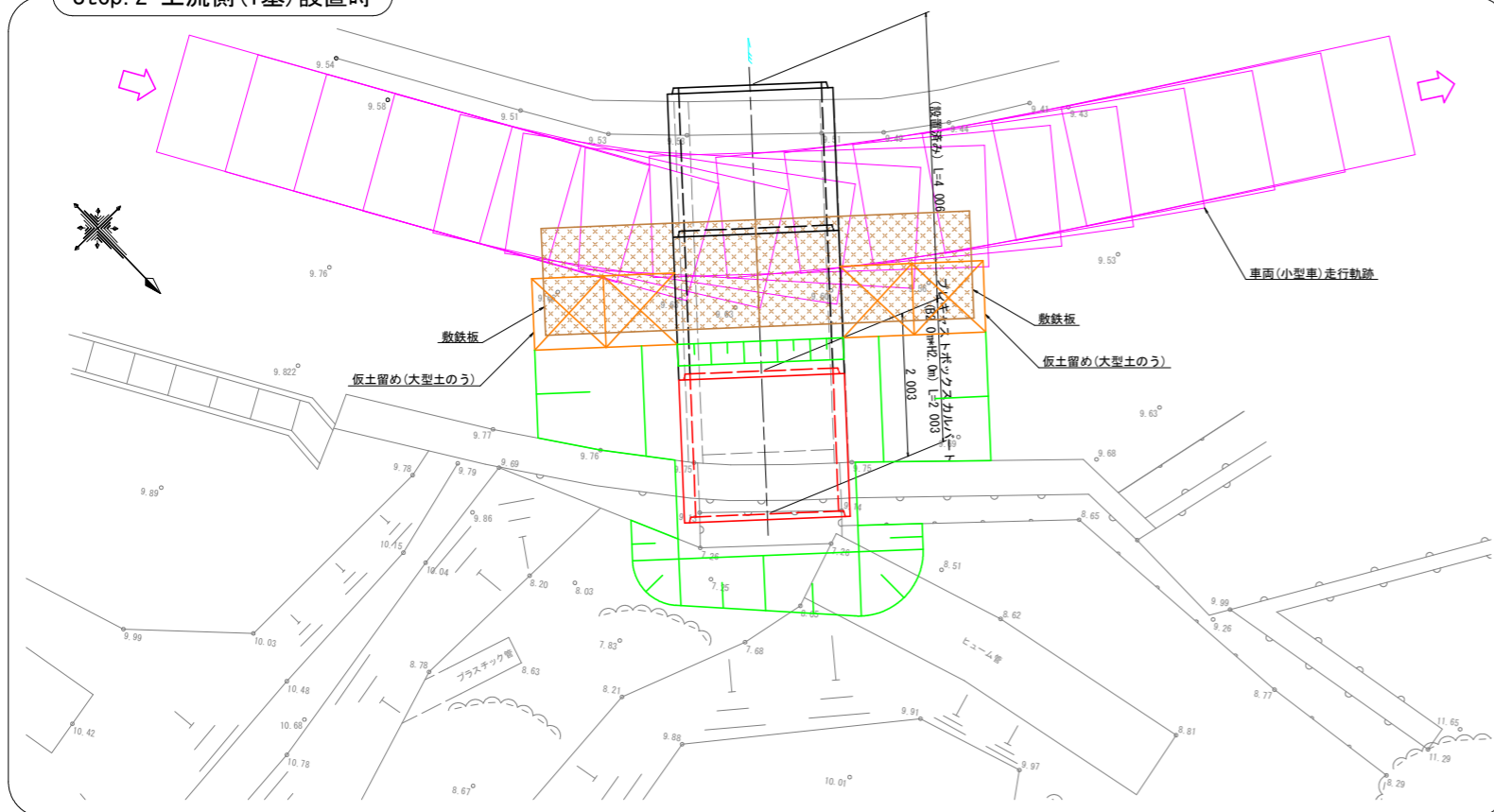
工事名	R1那土 徳島上那賀線(よろい谷橋)他2橋 那賀・掛盤他 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町掛盤他		
図面名	ボックスカルバート構造図		
縮尺	図示	図面番号	3 / 10
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

施工計画図(参考)

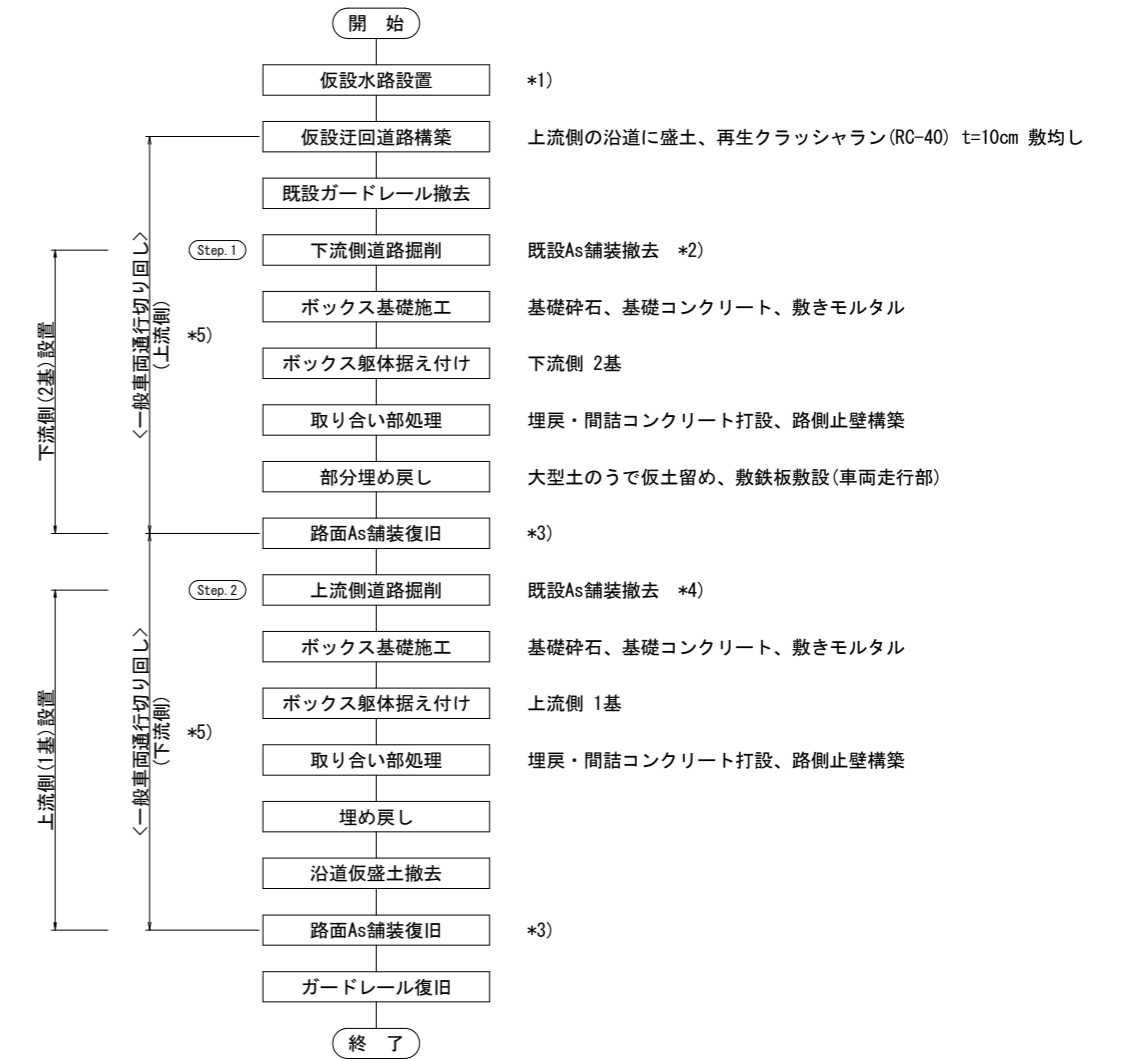
Step.1 下流側(2基)設置時



Step.2 上流側(1基)設置時

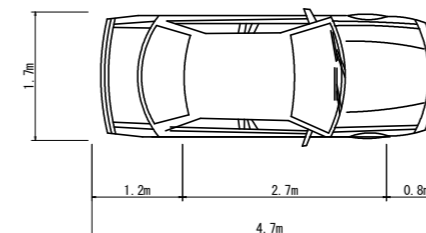


概略施工手順



- *1) 起点側(上勝町側)の谷筋には、波状管φ600を設置
終点側(那賀町側)は、既設ヒューム管φ1000を流用
現道開孔部との取り合いは、大型土のうの積み上げで適宜対応
- *2) 既設の石積みとGR基礎部は最小限(ボックス落とし込みに必要な幅のみ)撤去
ボックス設置後、間隙を充填
- *3) 舗装復旧はボックス設置が全て終了してからでも一括施工が可能
- *4) 既設の路側擁壁とGR基礎部は最小限(ボックス落とし込みに必要な幅のみ)撤去
ボックス設置後、間隙を充填
- *5) 仮設迂回道路は小型車を対象としているため、緊急車両等の中型車が通過する
場合は、誘導で対応を行うこと。

走行軌跡の対象車両：小型車

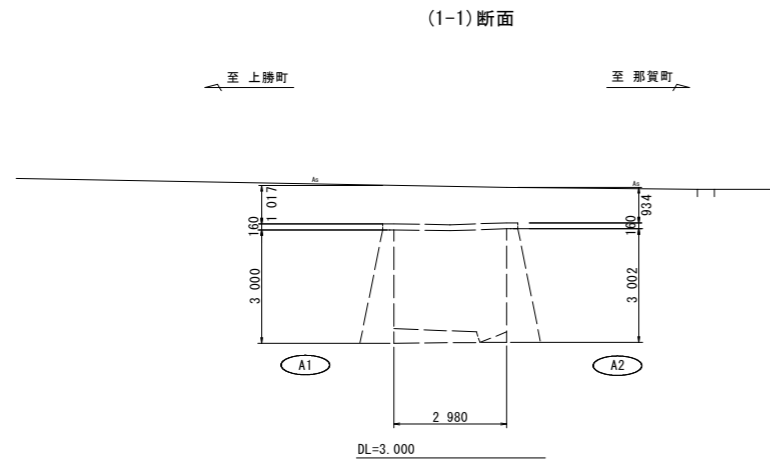


実施設計図面 (よろい谷橋)

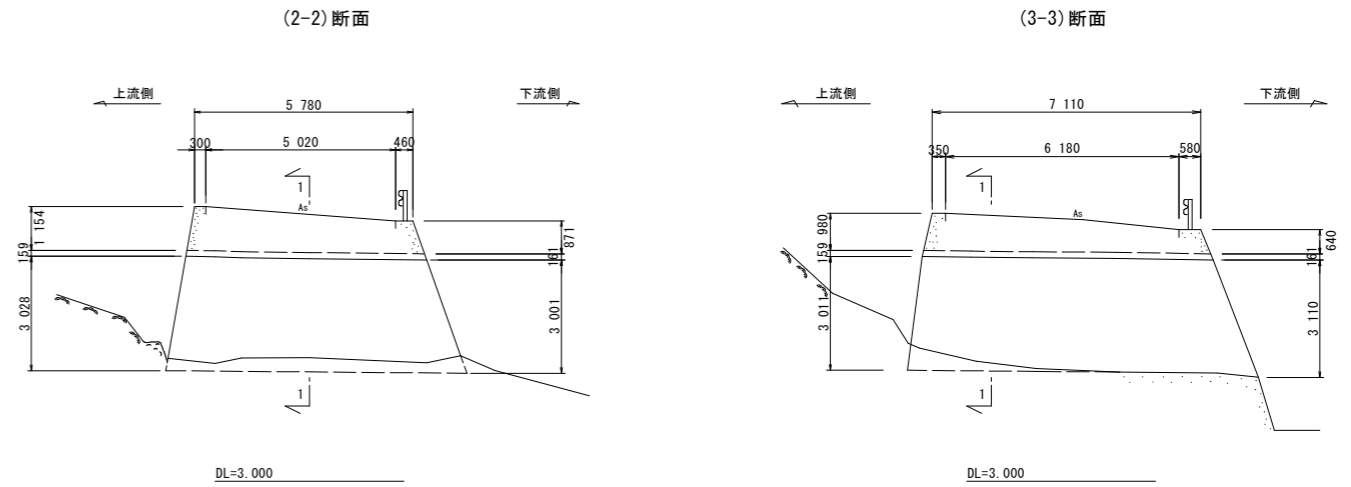
工事名	R1那土 徳島上那賀線(よろい谷橋)他2橋 那賀・掛盤他 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町掛盤他		
図面名	施工計画図(参考)		
縮尺	-	図面番号	4 / 10
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

赤城原6号橋 橋梁一般図

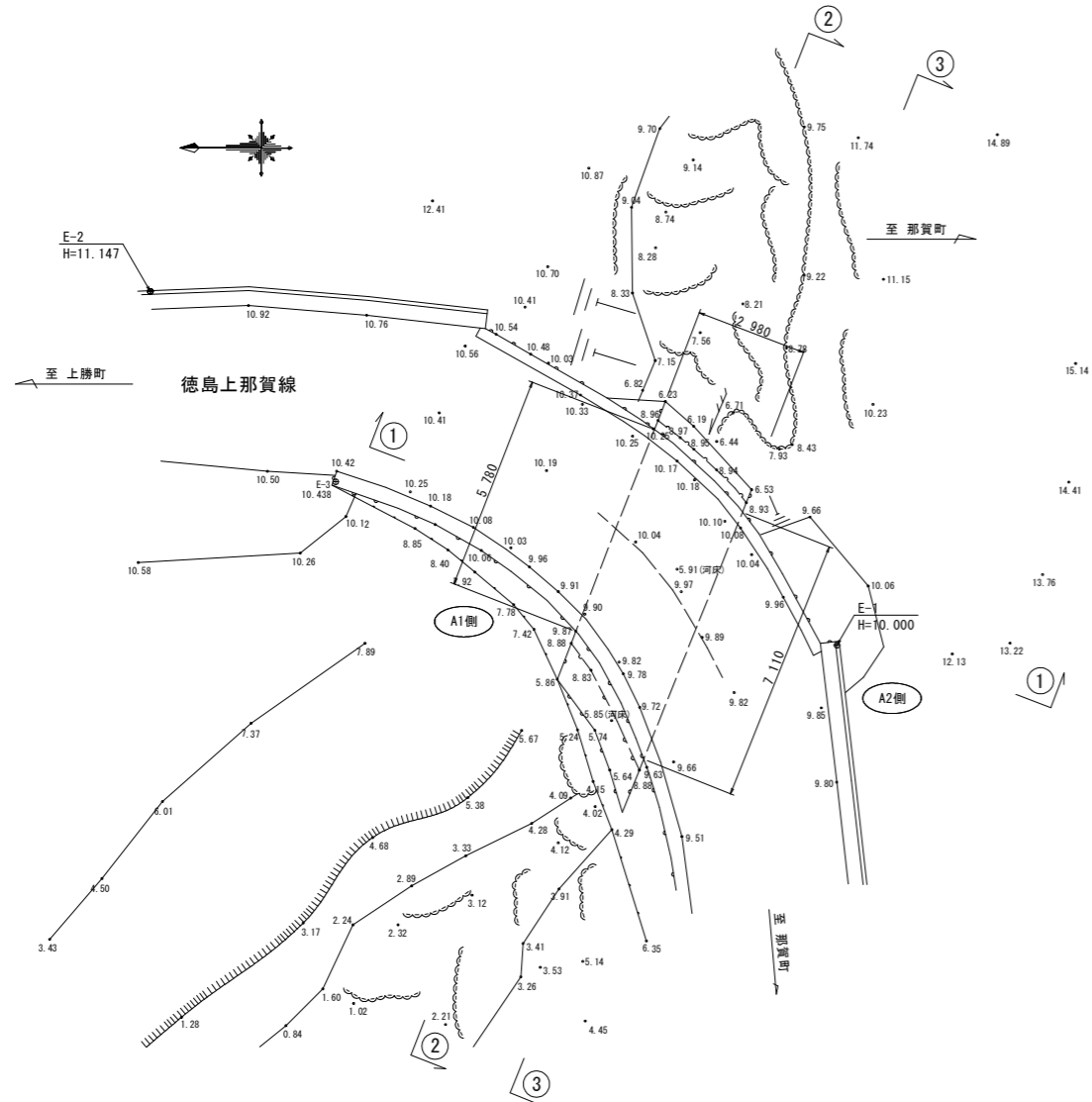
側面図 S=1:100



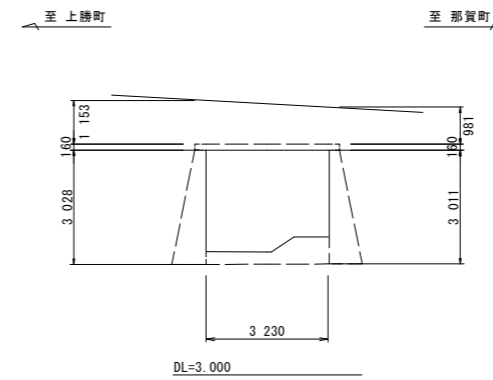
断面図 S=1:100



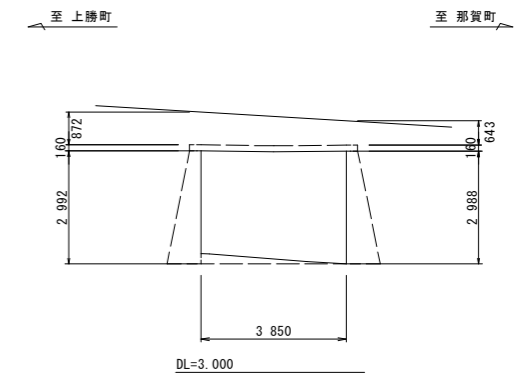
平面図 S=1:100



上流側断面



下流側断面



橋梁概要

路線名	主要地方道 徳島上那賀線	
橋格	二等橋 (TL-14 昭和39年鋼道路橋設計示方書)	
橋長	3.600m	
幅員	5.020~6.180m (車道有効幅員)	
上部工	A1-A2径間	RC床版
	施工年次	昭和40年度 (1965年)
下部工	橋台・橋脚	重力式橋台
	施工年次	昭和40年度 (1965年)
交差物	無名谷	
添架物	なし	

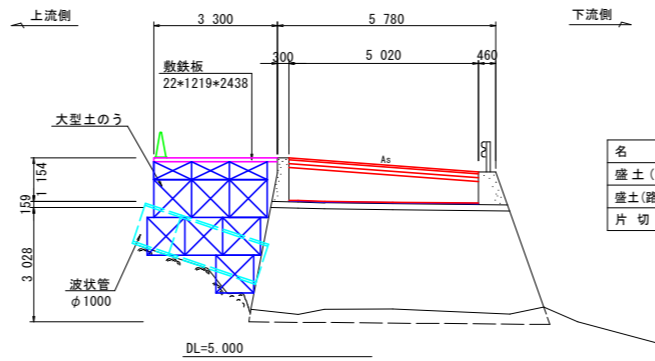
実施設計図面 (赤城原6号橋)

工事名	R1那土 徳島上那賀線(よろい谷橋)他2橋 那賀・掛盤他 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町掛盤他		
図面名	橋梁一般図		
縮尺	図示	図面番号	5 / 10
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

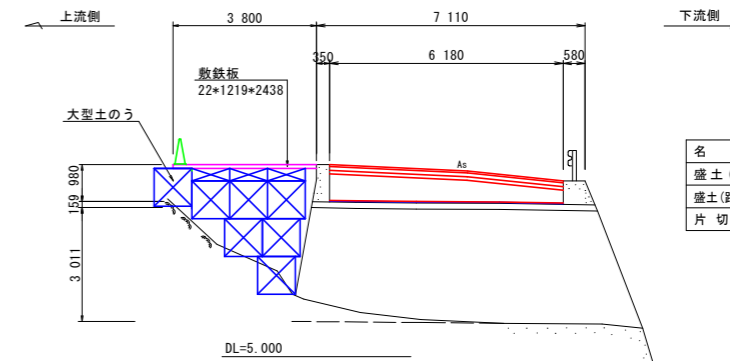
施工計画図 (参考)

断面図 S=1:100

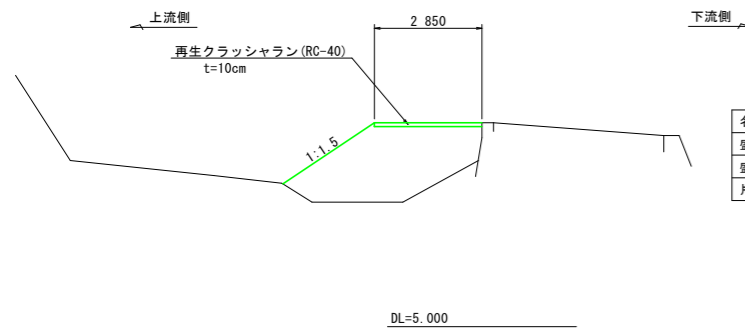
(3-3)断面



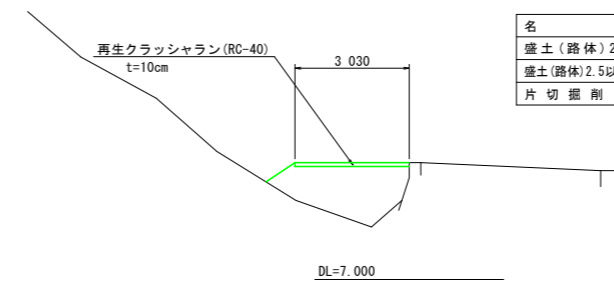
(4-4)断面



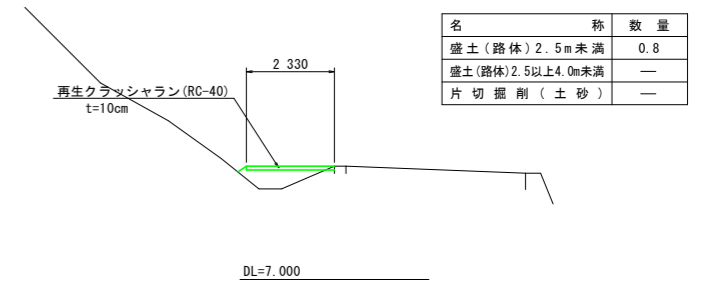
(2-2)断面



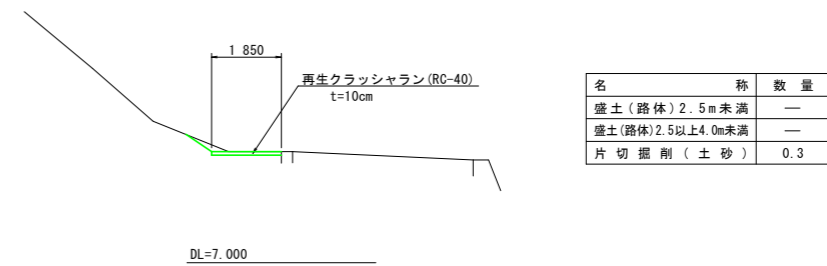
(5-5)断面



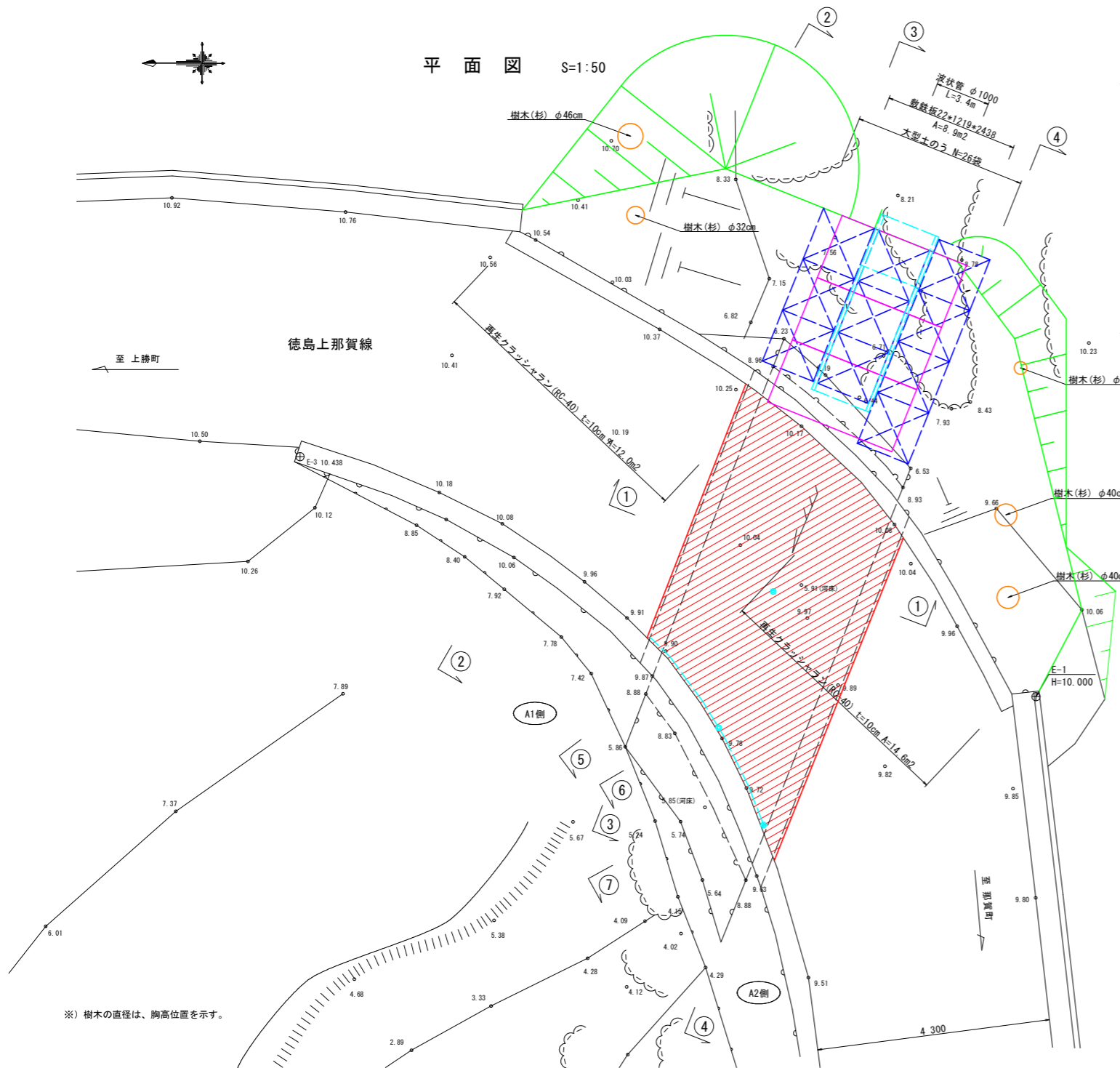
(6-6)断面



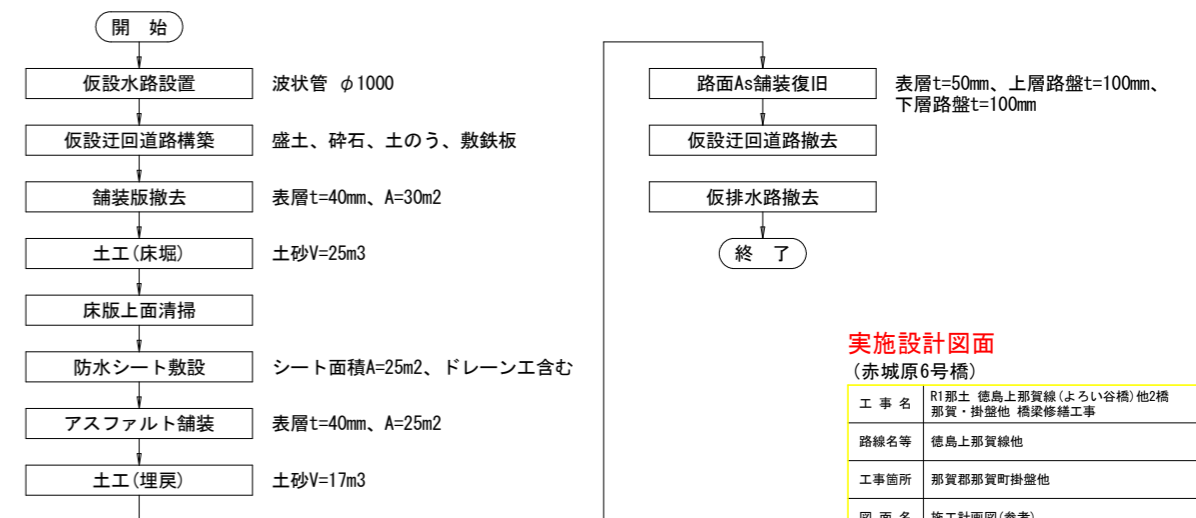
(7-7)断面



平面図 S=1:50



概略施工手順



実施設計図面 (赤城原6号橋)

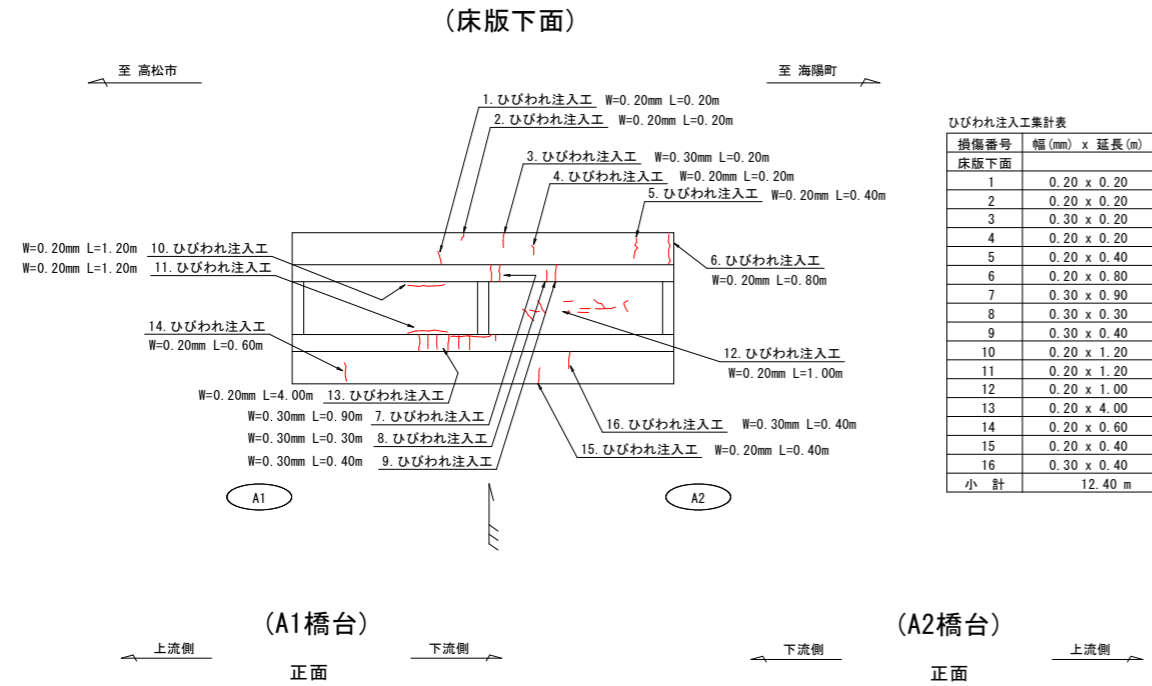
工事名	R1那土 徳島上那賀線(よろい谷橋)他2橋 那賀・掛盤他 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町掛盤他		
図面名	施工計画図(参考)		
縮尺	図示	図面番号	7 / 10
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

注1) 床版面の水分を除去するため、施工は、天候が安定する期間を選定し行うこと。
 注2) 仮設迂回道路は、小型車を対象としてあるため、緊急車両等中型車が通過する場合は誘導で対応を行うこと。

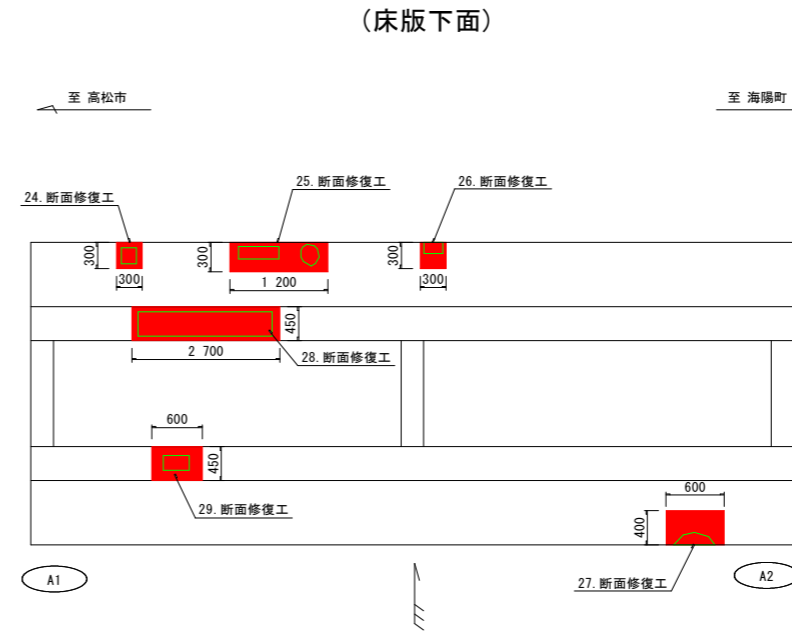
※) 樹木の直径は、胸高位置を示す。

影泉谷橋 補修計画図(1)

ひびわれ注入工詳細図 S=1:100



断面修復工詳細図 S=1:50



損傷番号	縦(m) x 横(m)	面積(m ²)	概要
24	0.30 x 0.30	0.09	修復厚50mm程度
25	0.30 x 1.20	0.36	
26	0.30 x 0.30	0.09	
27	0.40 x 0.60	0.24	
小計		0.78 m ²	

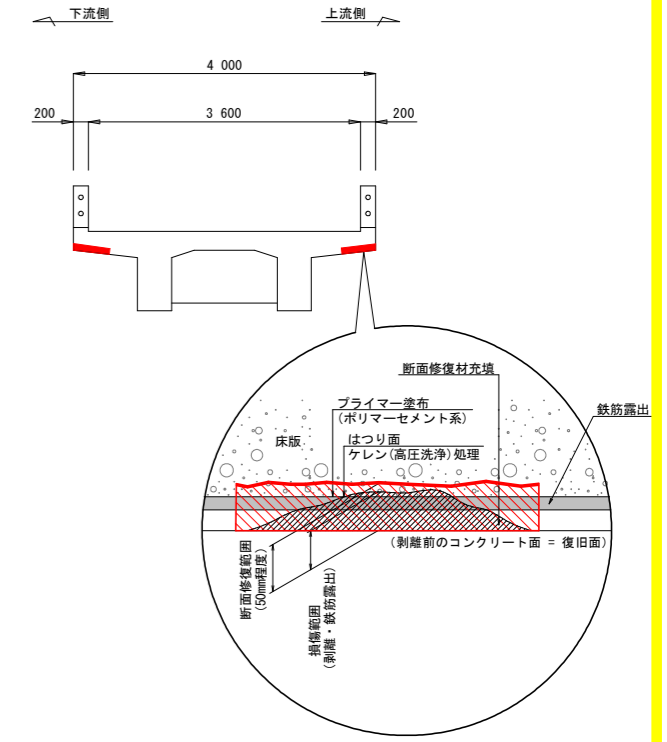
損傷番号	縦(m) x 横(m)	面積(m ²)	概要
28	0.45 x 2.70	1.22	修復厚100mm程度
29	0.45 x 0.60	0.27	
小計		1.49 m ²	

凡例

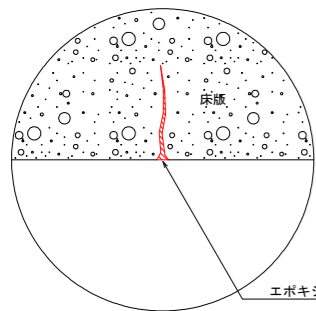
- 断面修復工(深さ50mm程度)
- 断面修復工(深さ100mm程度)
- 損傷部

断面修復工 合計 ΣA= 2.27 m²

断面図 S=1:50



ひびわれ注入工断面図



凡例

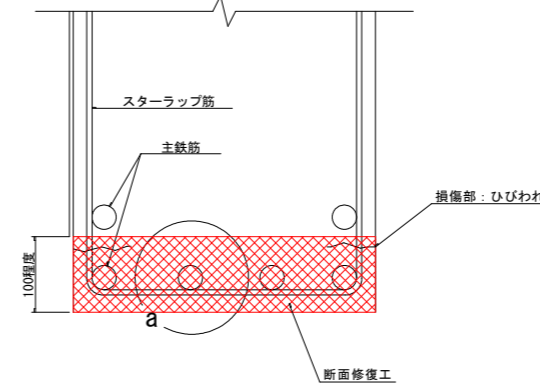
- ひび割れ注入工 (幅0.2mm以上)

・シーラ材(変成シリコン樹脂系 またはエポキシ樹脂系) : 0.281kg/m
 ・注入材(エポキシ樹脂系) : 1.180kg/m³

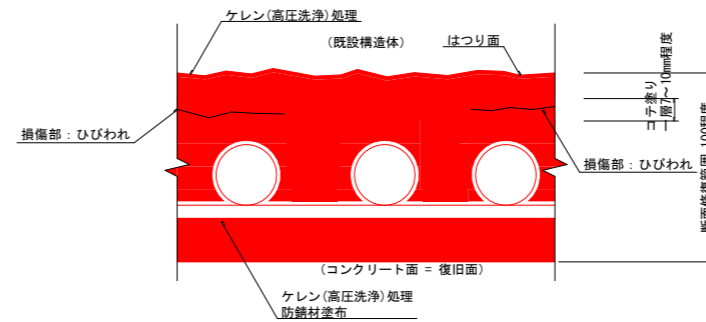
- 注1) 本図において、個別に対策(注入工)を要する幅 0.2mm超のものを示している。
- 注2) 本図は参考であり、施工にあたってはその時点のひび割れ状況を事前確認し、工事数量などを調整すること。
- 注3) 注入深さは、平均200mmとする

ひび割れ注入工 合計 ΣL= 18.40 m

主桁部断面詳細図 S=1:5



a部詳細図 S=1:2



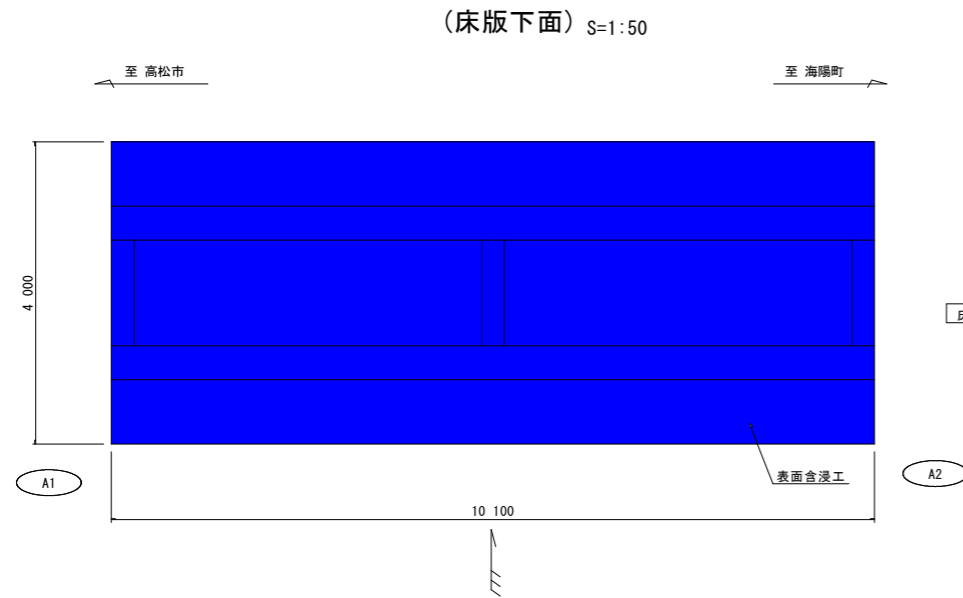
注) 図は参考であり、はつり厚や範囲は現地状況に応じて、適宜、変更を行うものとする。

実施設計図面 (影泉谷橋)

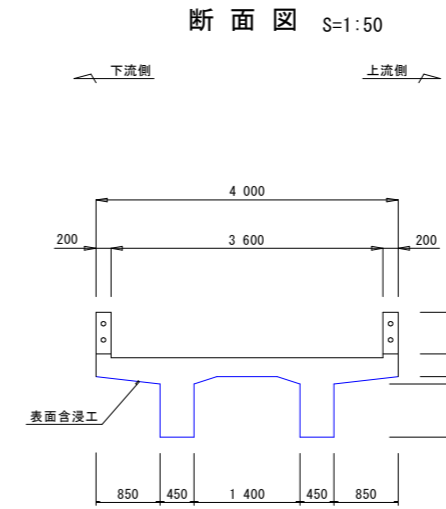
工事名	R1那土 徳島上那賀線(よろい谷橋)他2橋 那賀・掛盤他 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町掛盤他		
図面名	影泉谷橋 補修計画図(1)		
縮尺	図示	図面番号	8 / 10
会社名			
事業者名	徳島県南総合県民局<那賀>		

影泉谷橋 補修計画図(2)

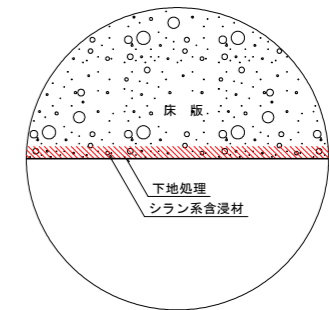
表面含浸工詳細図



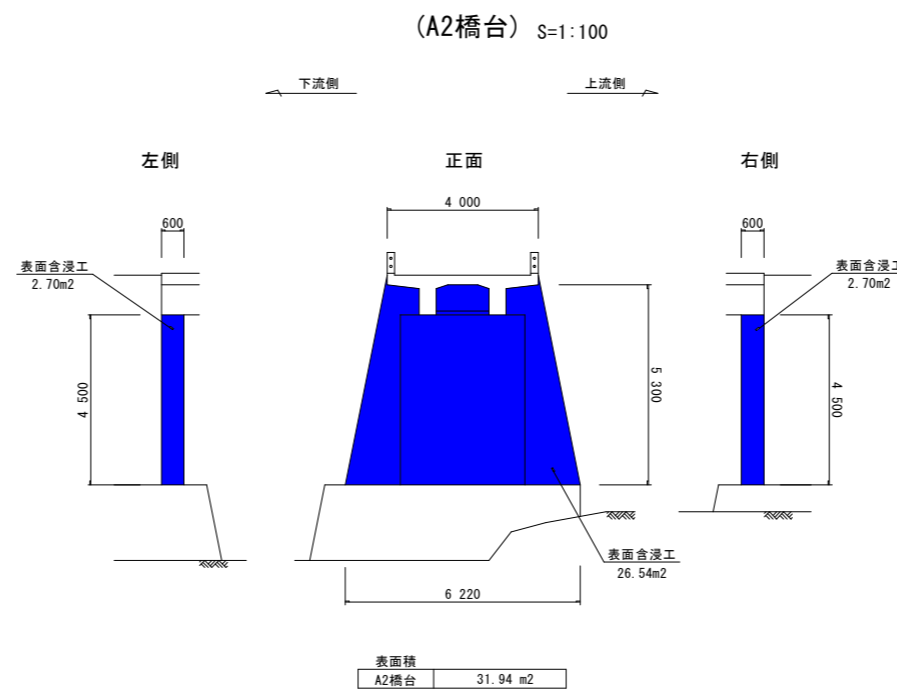
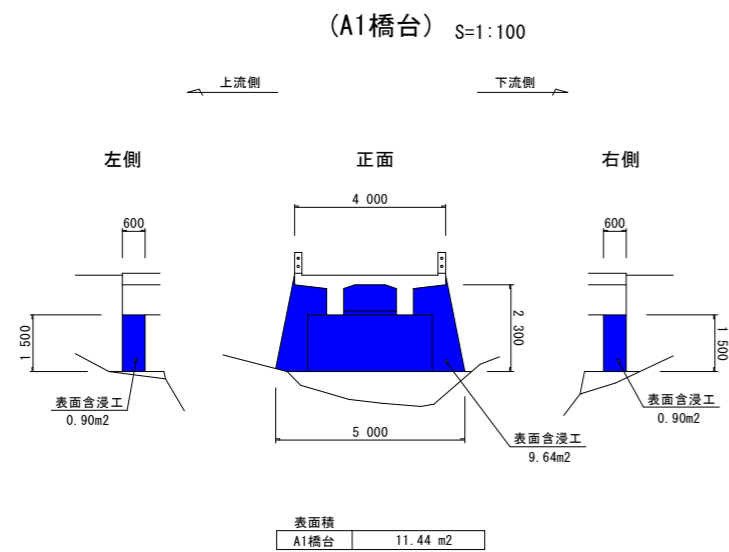
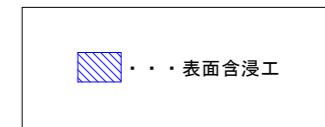
表面積
床版下面 6.80 x 10.10 = 68.68 m²



表面含浸工断面図



凡例



表面含浸工面積 合計 ΣA= 112.06 m²

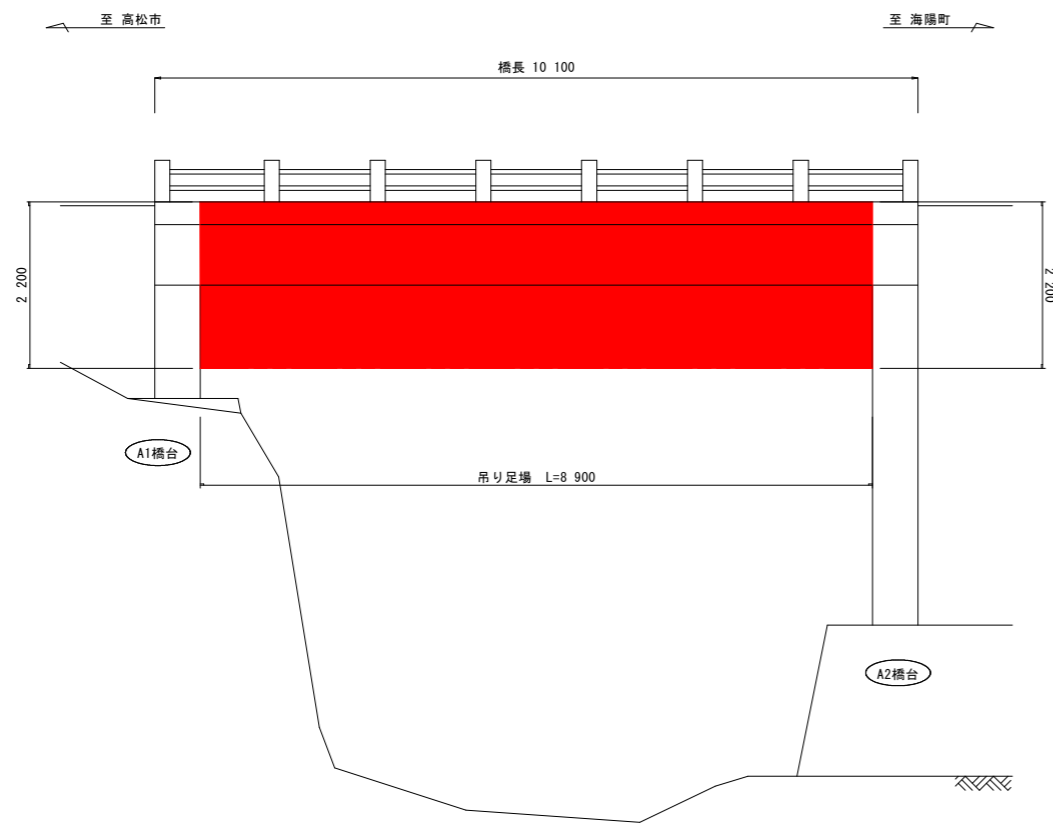
注) 表面含浸工は、「塩害」及び「中性化」に対して施工する。
施工に際しては、使用含浸材の施工要領に準拠した施工を行うこと。

実施設計図面 (影泉谷橋)

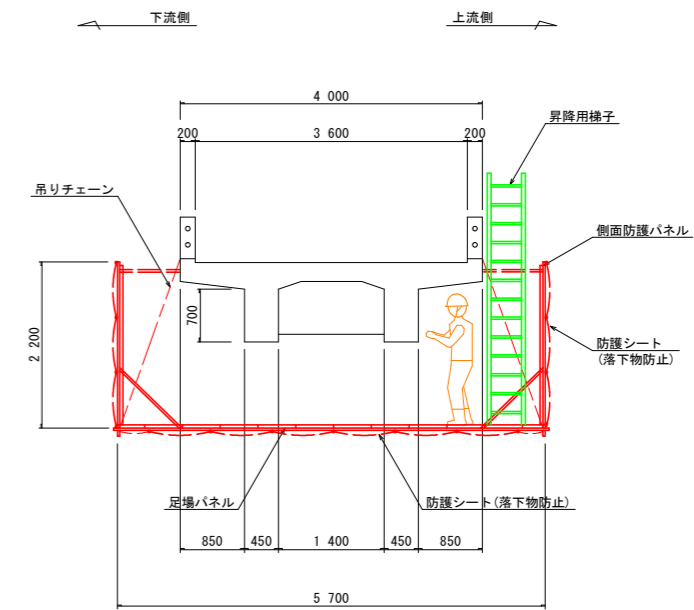
工事名	R1那土 徳島上那賀線(よろい谷橋)他2橋 那賀・掛盤他 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町掛盤他		
図面名	影泉谷橋 補修計画図(2)		
縮尺	図示	図面番号	9 / 10
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

足場工計画図(参考) S=1:50

側面図

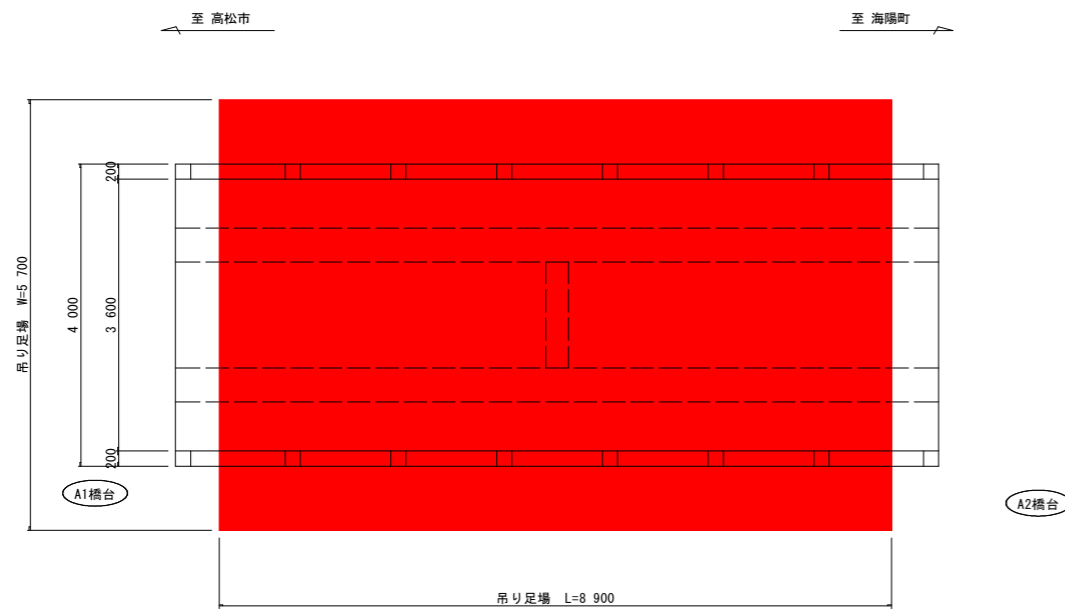


断面図



※) 桁端部の再塗装を行う場合、周辺への飛散防止対策を行う。
 ※) 吊り足場内には、作業の必要に応じて、適宜、簡易足場の構築も検討する。

平面図



※) 本図は参考であり、実施にあたっては事前に現地状況を確認の上、適宜、計画を修正すること。

実施設計図面
(影泉谷橋)

工事名	R1那土 徳島上那賀線(よろい谷橋)他2橋 那賀・掛盤他 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町掛盤他		
図面名	足場工計画図(参考)		
縮尺	S=1:50	図面番号	10 / 10
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		